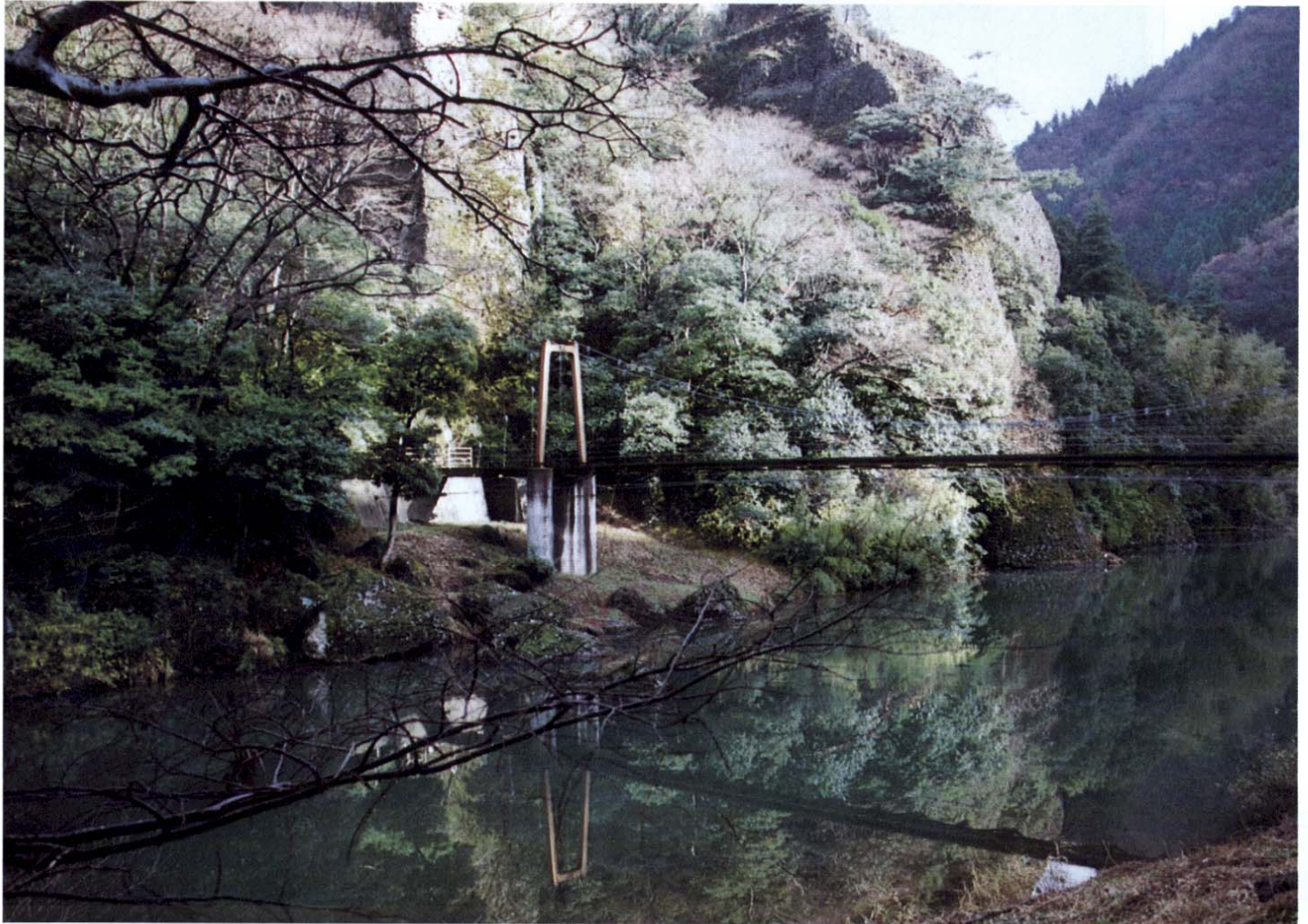




ふれあい 放水路

1995
(平成7年)
第21号
12月



立久恵峡にて

日本海から吹きつける冷たい風が、山陰に冬到来を告げています。空の色も重々しく、紅葉が鮮やかだった立久恵峡も今はすっかり色を消し、風で揺れる木の枝や川面が寒さを演出しています。

神戸川流域で最も知られている場所といえば、やはりここ、立久恵峡ではないでしょうか。神戸川からそびえ立つ奇岩・柱石は言うまでもなく、四季折々の風情を感じに訪れる人の後が絶えません。

春、中国山地からの雪解け水が冷たく流れ、木々の若葉が萌え出る。夏、深緑まぶしく、ボートや川遊びをする声が響きわたる。秋、溪谷に紅葉が映え、人々を自然道へ誘う。今は裸木が目立ち、冬本番を迎える準備をしているかのようにひっそりとしています。もう少しすると、辺り一帯雪化粧をして、また違った表情を見せてくれます。

下長浜堤脚水路が完成しました

斐伊川放水路事業では、放水路用地と民地の境に水路をつくっています。この水路は、地元の皆様が利用される用・排水路であり放水路の堤防をつくる前に工事を行います。皆様の生活に深く係わる水路なので、丈夫で良いものになるよう工事を進めています。11月末には、出雲市西園町下長浜地区に延長610mの水路が完成しました。今回は、堤脚水路が完成するまでの過程を紹介します。



堤脚水路が完成するまで

決められた位置に決められた大きさの水路をつくるための測量をします。水路の位置は、丁張りで現地に再現します。丁張りとは、できあがりの場所と形を示す板の事です。



水路をつくり始める位置まで地面を掘ります。

コンクリートが固まると型枠をはずします。水路が姿を現わす緊張の瞬間です。



狭い所もしっかりとまわりの土を締め固めます。

地元説明

測量・丁張り

床掘

型枠組立て

コンクリート打設

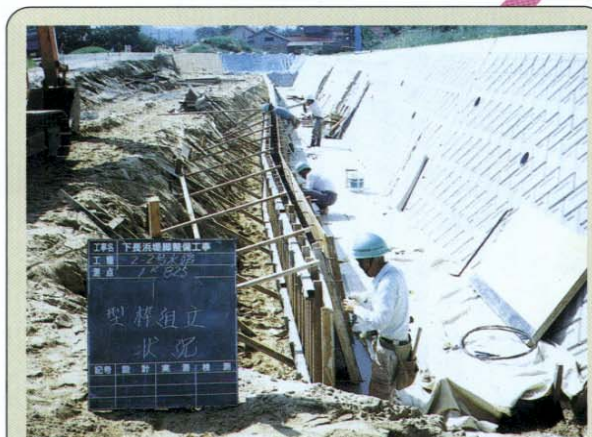
型枠取り

埋め戻し

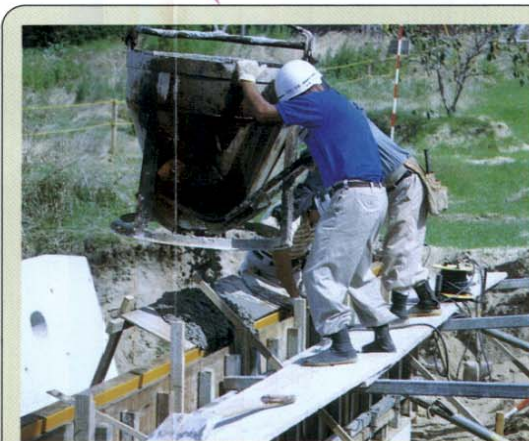
完成



工事を始める前に、地元の方々に工事の説明を行います。工事への要望があれば検討し、返事をします。



コンクリートを流し込む型をつくります。決められた大きさの水路をつくるための、熟練のいる重要な作業です。



きれいで丈夫な構造物は、この作業で決まります。

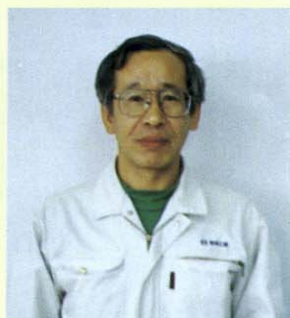


水路完成



工事着工前

☆現場から一言☆



この工事は、地盤が砂浜で崩れやすく大変苦労しました。「民家への影響はないだろうか？収穫期にあたるブドウに影響はないだろうか？」地元の方々の話を聞いたり、建設省出雲工事事務所の建設監督官と相談しながら工事方法を考えました。影響のありそうな民家の周りには矢板を打ったり、ブドウの収穫が終わるまで工事を延ばしたりしながら無事工事を終えることができました。地元の皆様の快いご協力のおかげ、と心から感謝しています。

工事請負企業の現場代理人 野津正志

★地元からの声★

島根県出雲の国に住む我々が待ち望んだ斐伊川治水事業に同意して9年、いよいよ工事が本格化し神戸川の下流の地元、下長浜地区にも堤脚水路が先頃完成しました。

近辺の様子が変わって行く中、この事業に様々な面で係わってきた私と致しましても、その完結を是非でも見届けたいと願っております。

下長浜町治水対策委員長

石飛一雄

ふれあい
放水路
通信

十月十八日 土木の日

放水路工事現場見学会

「土木の日」にちなみ、土木について理解を深めてもらおうと、放水路工事現場の見学会を開催しました。

十一月十三日には、出雲農林高校農業土木科一年生のみなさんを対象に、放水路の分流点から神戸川河口までを見学しました。生徒のみなさんは、各工事現場での説明に熱心に耳を傾けていました。将来、この中から放水路事業にたずさわる人が出るかもしれませんね。

また、十八日には一般希望者の方四十九名が、上流の志津見ダム予定地と放水路の開削部、合流点を見学しました。実際現場を歩いてみて、山を削つたり、川を広げたりすることのスケールの大きさに驚いた様子でした。



ふれあい広場

できました!

大社町中荒木地区の一文橋北側に「ふれあい広場」ができました。

十月三十日には、地元の荒木幼稚園の園児四十名のみなさんと工事関係者がいっしょに、花だんにサルビアやパンジーなどを植え、楽しいふれあいのひとときを過ごしました。

この広場には小さな池もあり、すぐ横の新内藤川や神戸川にいたコイやフナも泳いでいます。散歩がてら気軽に立ち寄りください。



師走に入り、あわただしく毎日が過ぎて行きます。

今年も1年、ご協力ありがとうございました。よいお年をお迎えください!



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当